１２　大学・大学院

[Ⅰ-12-1表] 　　主要指標の推移



（１）学校数

ア　学校数は55校で、前年度と同数である。

イ　設置者別では、国立2校(構成比3.6％)、公立2校(同3.6％)、私立51校(同92.7％)である。

 [Ⅰ-12-1表]

（２）学生数

ア　学生数は245,176人（男子147,959人、女子97,217人）で、前年度より1,701人増加している。

イ　設置者別では、国立29,029人(構成比11.8％)、公立16,198人(同6.6％)、私立199,949人(同81.6％)である。

ウ　昼夜別では、昼間242,483人(構成比98.9％)、夜間2,693人(同1.1％)である。

エ　学生数の内訳は、学部223,409人(構成比91.1％)、大学院18,101人(同7.4％)、専攻科123人(同0.1％)、別科670人(同0.3％)、その他(科目等履修生・聴講生・研究生)2,873人(同1.2％)である。

 [Ⅰ-12-1表・統計表58・統計表61]

（３）学部学生数

ア　学生数のうち学部学生数は223,409人（男子133,616人、女子89,793人）で、前年度より1,368人増加している。

イ　設置者別では、国立19,331人(構成比8.7％)、公立12,473人(同5.6％)、私立191,605人(同85.8％)である。

ウ　昼夜別では、昼間221,841人(構成比99.3％)、夜間1,568人(同0.7％)である。

エ　関係分野別では、社会科学関係80,571人(構成比36.1％)、人文科学関係32,090人(同14.4％)、その他30,539人(同13.7％)の順である。

[Ⅰ-12-2表・Ⅰ-12-1図・統計表61]

[Ⅰ-12-2表] 　 関係分野別学部学生数



[Ⅰ-12-1図] 　　　　関係分野別学部学生数の割合

 [Ⅰ-12-2図]　女子学生の占める割合



（４）入学状況

ア　入学者数は54,185人（男子31,949人、女子22,236人）で、前年度より140人減少している。そのうち18歳の入学者数は、42,570人(構成比78.6％)である。

イ　入学者を出身高等学校の所在地別にみると、近畿地方出身者は43,976人(構成比81.2％)である。そのうち、大阪府内高等学校出身者は26,744人で、全入学者に占める割合は49.4％である。 [Ⅰ-12-3表・統計表63]

[Ⅰ-12-3表] 出身高校の所在地別入学者数と大阪府内高校卒業者の大学所在地別入学者数



（５）大学院の学校数

ア　学校数は46校で、前年度と同数。

イ　設置者別では、国立3校(構成比6.5％)、公立2校(同4.3％)、私立41校(同89.1％)であ

る。

 [統計表59]

（６）大学院学生数

ア　大学院学生数は18,101人（男子12,368人、女子5,733人）で、前年度より196人増加している。

イ　設置者別では、国立8,485人(構成比46.9％)、公立3,501人(同19.3％)、私立6,115人(同33.8％)である。

ウ　昼夜別では、昼間17,392人(構成比96.1％)、夜間709人(同3.9％)である。

エ　課程別では、修士課程11,175人(構成比61.7％)、博士課程5,411人(同29.9％)、専門職学位課程1,515人(同8.4％)である。

オ　関係分野別では、工学関係6,237人(構成比34.5％)が最も多く、次いで社会科学関係3,088人(同17.1％)、保健関係3,011人(同16.6％)の順である。

 [Ⅰ-12-1表・Ⅰ-12-4表・統計表58・統計表61・統計表65]

[Ⅰ-12-4表] 　 　　専攻分野別大学院学生数



（７）教員数（本務者）

ア　教員数(本務者)は13,618人(男性10,363人、女性3,255人)で、前年度より99人増加している。このうち外国人教員数(学長・副学長を除く)は、683人(構成比5.0％)である。

イ　設置者別では、国立3,535人(構成比26.0％)、公立1,373人(同10.1％)、私立8,710人(同64.0％)である。

[Ⅰ-12-1表・統計表66・統計表67]

（８）教員数（兼務者）

ア　教員数(兼務者)は14,829人で、前年度より170人増加している。このうち外国人教員数は1,104人(構成比7.4％)である。

イ　設置者別では、国立1,217人(構成比8.2％)、公立1,476人(同10.0％)、私立12,136人(同81.8％)である。

[統計表66]

１３　短期大学

[Ⅰ-13-1表] 　　主要指標の推移



（１）学校数

　学校数は23校（私立23校）で、前年度より1校減少している。

 [Ⅰ-13-1表]

（２）学生数

ア　学生数は10,382人（男子854人、女子9,528人）で、前年度より536人減少している。

イ　昼夜別では、昼間10,217人(構成比98.4％)、夜間165人(同1.6％)である。

ウ　学生数の内訳は、本科10,030人(構成比96.6％)、専攻科51人(同0.5％)、別科62人(同0.6％)、その他(科目等履修生・聴講生・研究生)239人(同2.3％)である。

[Ⅰ-13-1表・統計表68・統計表71]

（３）本科学生数

ア　学生数のうち、本科学生数は10,030人（男子822人、女子9,208人）で、前年度より489人減少している。

イ　昼夜別では、昼間9,865人(構成比98.4％)、夜間165人(同1.6％)である。

ウ　関係分野別では、教育関係3,275人(構成比32.7％)が最も多く、次いで人文関係2,153人(同21.5％)、家政関係1,526人(同15.2％)の順である。

 [Ⅰ-13-1表・Ⅰ-13-2表・Ⅰ-13-1図・統計表71]

 [Ⅰ-13-1図] 　　関係分野別本科学生数の比率

[Ⅰ-13-2表] 　　関係分野別本科学生数



（４）本科学生の入学状況

ア　入学者数は4,748人（男子386人、女子4,362人）で、前年度より220人減少している。

年齢別では18歳が最も多く、4,134人(構成比87.1％)である。

イ　入学者を出身高等学校の所在地別にみると、近畿地方出身者は4,201人(構成比88.5％)である。そのうち大阪府内高等学校出身者は3,144人で、全入学者に占める割合は66.2％である。

 　　[Ⅰ-13-3表・統計表73]

[Ⅰ-13-3表]　出身高校の所在地別入学者数と大阪府内高校卒業者の短期大学所在地別入学者数



（５）教員数（本務者）

　教員数(本務者)は616人（男性277人、女性339人）で、前年度より6人増加している。

そのうち外国人教員数(学長・副学長を除く)は、18人(構成比2.9％)である。

　[Ⅰ-13-1表・統計表75・統計表76]

（６）教員数(兼務者)

教員数(兼務者)は1,624人で、前年度より4人減少している。そのうち外国人教員数は、77人(構成比4.7％)である。

 [統計表75]

１４　大学・大学院・短期大学の通信教育

[Ⅰ-14-1表] 　　主要指標の推移



（１）学校数

通信による教育を実施している学校は5校(通信制の学部を置く大学3校、短期大学2校)で、前年度と同数である。

　なお、全国で通信教育を実施している学校の実数は、64校（大学44校、大学院27校、短期大学11校で、うち大学と大学院の両方で通信教育を行う大学は18校）である。

[Ⅰ-14-1表]

（２）学生数

ア　学生数は9,507人（男子3,300人、女子6,207人）で、前年度より15人減少している。

イ　学生のうち、正規の課程の学生は5,013人(大学2,227人、短期大学2,786人)、科目等履修生・聴講生は4,474人(大学3,674人、短期大学800人)で、前年度より正規の課程の学生は161人増加（大学28人、短期大学133人増加）し、科目等履修生・聴講生は172名減少（大学96人、短期大学76人減少）している。

ウ　正規の課程の学生の職業別では、無職3,134人(構成比62.5％)が最も多く、次いで会社(商店)員・銀行員等1,017人(同20.3％)、その他397人（同7.9％）の順である。

エ　正規の課程の学生の年齢別では、18歳～22歳が2,117人(構成比42.2％)、23歳～24歳が281人(同5.6％)、25歳～29歳が479人(同9.6％)、30歳～39歳が670人(同13.4％)、40歳～49歳が756人(同15.1％）、50歳～59歳が459人(同9.2％)、60歳以上が251人(同5.0％)である。

 [Ⅰ-14-1表・統計表77・統計表78・統計表79]

１５　高等専門学校

[Ⅰ-15-1表] 　　　　主要指標の推移

（１）学校数

学校数は1校(公立)で、前年度と同数である。

[Ⅰ-15-1表]

（２）学生数

ア　学生数は855人（男子747人、女子108人）で、前年度より7人増加している。

イ　学生のうち本科学生は807人、専攻科、科目等履修生・聴講生は48人で、前年度より本科学生は3人、専攻科、科目等履修生・聴講生は4人それぞれ増加している。

ウ　教員（本務者）１人当たりの学生数は12.4人で、前年度より0.3ポイント上昇している。

 [Ⅰ-15-1表・統計表81]

（３）教員数（本務者）

教員数は69人で、前年度より1人(対前年度△1.4％)減少している。

 [Ⅰ-15-1表]

１６　留学生

[Ⅰ-16-1表] 　　主要指標の推移



（１）留学生数

ア　留学生数は9,499人（男子4,822人、女子4,677人）で前年度より392人増加している。

イ　留学生の内訳は、大学6,202人（構成比65.3％）、大学院3,160人（同33.3％）、短期大

学137人（同1.4％）である。

ウ　費用別では、国費留学生706人（構成比7.4％）、私費留学生8,793人（同92.6％）である。

[Ⅰ-16-1表]

（２）国籍別留学生数

ア　国籍別では、中国5,721人（構成比60.2％）が最も多く、次いでベトナム933人（同9.8

％）、韓国・朝鮮753人（同7.9％）の順である。

イ　地域別では、東南アジア地域8,398人（構成比88.4％）が最も多く、次いで西ヨーロッパ地域268人（同2.8％）、北米地域250人（同2.6％）の順である。

 [Ⅰ-16-2表・Ⅰ-16-1図・統計表83]

[Ⅰ-16-2表] 　　国籍別留学生数



[Ⅰ-16-1図] 国籍別留学生数の割合

（３）専攻分野別学生数

ア　専攻分野別では、社会科学関係4,139人（構成比43.6％）が最も多く、次いで人文科学関係1,940人（同20.4％）、工学関係1,490人（同15.7％）の順である。

イ　前年度と比べると、社会科学、工学、医・歯学、教育、その他の分野で増加している。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　[Ⅰ-16-3表・Ⅰ-16-2図]

[Ⅰ-16-3表] 専攻分野別留学生数



[Ⅰ-16-2図] 専攻分野別留学生数の割合

